

運動会本番まで残りわずか

いよいよ明後日の30日(金)に予定されている運動会が目前に迫ってきました。先週は、木曜日に雨が降り、当初予定していた全体練習を翌日に延期するという事があったのですが、その後は、よい天候が続いています。週間天気予報では、運動会当日の30日はよい天候になりそうです。このまま予報どおりであることを願うばかりです。

さて、本日10月28日(水)、運動会の総練習を行いました。

各学年の競技や応援合戦を含め、30日の本番に向けて、各係の確認を行いながら練習しました。競技に参加する児童はもちろんですが、5年生以上の各係を担当している児童が戸惑いながらも、がんばっている様子が見ているこちら側へしっかりと伝わってきました。特に、6年生。よく全体をまとめながらがんばっていました。

本番はきっとよい運動会をつくってくれると思います。



9月24日付の運動会の案内文書において、これまでの運動会との変更点を4点記載しています。少し時間が経ってしまいましたので、確認の意味を込めて、以下、再度記載いたします。

開催時刻は、午前9時から午後11時50分です。児童には給食があり、通常通りの時刻に下校します。

児童が出場する種目は各学年1種目と表現運動の計2種目です。応援合戦、綱引き、色別対抗リレーなどは行いません。

準備、片付けなどは児童と職員で行います。保護者の皆様をお願いしていたご清掃等への作業協力は今年度ありません。

観覧は、原則として保護者のみの参観とします。

コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年とは違った運動会ということで実施いたします。ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

表彰 エコ推進

10月26日(月) 赤崎小学校は、させぼエコアクションスクールという、節水や節電などの環境保全に対し、長年取り組んだということで、「エコマイスタースクール」に認定されました。当日は、佐世保市教育委員会や佐世保市環境保全課の担当の方が来校され、主となって取り組んでいる環境飼育委員会の児童へ認定書が手渡されました。その際、「今後も継続してエコ活動を推進していきましょう。」という佐世保市教育委員会の先生からのことばに対し、環境飼育委員会の



さんが委員会を代表して、次のように決意のことばを述べてくれました。「赤崎小学校では、主に教室の電気をこまめに消すことや、水を大切に使うこと、ごみを減らして資源を回収することなど、私たち一人一人の心がけができるような、身近な取組を行っています。これからも、私たち委員会のメンバーが中心となり、自然やよい環境を守っていくためにはどうしたらよいのかを考え、取り組んでいきたいと思います。」

読書まつり

毎年、10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)は、読書週間です。

この読書週間の始まりについては、10月22日付、赤崎小学校「としょだより ほんわか」の№3に詳しく記載されていますので、よろしければご参照されてください。概略としては、「終戦まもない昭和22年、『読書の力によって、平和な文化国家を創ろう』という趣旨の基、出版社、や公共図書館等が力を合わせ、「読書週間」が開催された」ことが始まりであると記載されています。また、読書推進運動協議会ホームページには、このようにも記されています。「それから70年以上が過ぎ、『読書週間』は国民的行事として定着し、日本は世界有数の『本を読む国民』の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。」と。



先人の知恵を吸収し、より豊かな生活を子どもたちが築いていく基礎をつくることのできるように、今のうちから、読書の習慣を身につけさせたいものだと願っています。

赤崎小学校では、この読書週間に合わせて、以下のような取組を図書委員会が中心となって行います。(本校の読書まつり、初日である10月26日には、昼の放送で図書委員会の子どもたちが全校児童に対して紹介してくれていました。)

- (1) 親子ふれあい読書
- (2) しおりコンクール
- (3) 職員によるお薦めの本の展示

運動会を目前に控えて、子供たちの意識には「動」の部分が強く表れていると思います。そのようなときだからこそ、心を落ち着け本の世界と向き合う時間をつくることが大きな意味をもってくると考えます。親子ふれあい読書など、ご多用の中にご負担をおかけする部分があるとは思いますが、ご協力、どうよろしくお願いいたします。